

成果指標				
成果指標	執行済額(直接事業費)÷予算額(直接事業費)=事業費進捗率			
指標設定の考え方	人件費等の総務管理費であることを考慮して、指標設定に関しては予算の執行率とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	100	100	0	0
実績	94.8	98	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	基幹事務であるので、今後歳出削減に努め適正な予算執行をする。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	成果指標の事業進捗率も前年よりUPLしており、今後も引き続き適正な予算管理に努めて欲しい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	一般管理事務であり、評価対象外事業とするか検討を行なうこと。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。